

宮崎大学医学部附属病院 眼科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

眼科臨床医、眼科教育者及び視覚生理学研究者の養成を目的とする2年間の臨床研修を含む長期の研修要項である。始めの4年間の研修修了により日本眼科学会専門医認定試験の受験資格が得られることを目的とする。

2. 研修目標

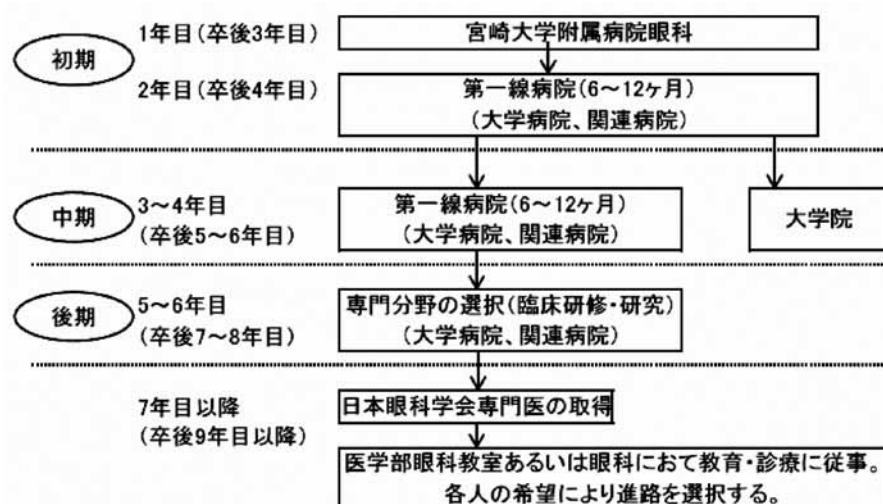
【一般目標】

眼科学の進歩に応じて、広い知識、練磨された技能、高い理論性を備えた眼科医療を行えるようになることが基本的目標である。

【行動目標】

- (1) 医の倫理、チーム医療、患者及びその家族との人間関係、会社との関連性についての認識
- (2) 医療に関する法律の理解
- (3) 自己学習と自己評価の実行
- (4) 臨床に求められる基本的な診療に必要な知識・技能・態度の習得
- (5) 一般の初期救急医療に関する技術の習得
- (6) 眼科臨床に必要な基本的知識として、次のものも含む解剖、組織、発生、生理、眼光学、病理、免疫、遺伝、生化学、薬理、微生物、衛生、公衆衛生、医療統計、失明予防など
- (7) 習得すべき眼科診断技術と検査法として、次のものを含む。視力、視野、眼底、眼位、眼球運動、両眼視機能、瞳孔、色覚、光覚、屈折、調節、隅角、眼圧、細隙灯顕微鏡検査、涙液ならびに涙道検査、蛍光眼底造影、電気生理学的検査、画像診断、細菌ならびに塗沫標本検査
- (8) 習得すべき眼科治療技術として次のものを含む。基礎的治療手技（点眼、結膜下注射、球後注射、ブジー、涙嚢洗浄など）、眼鏡及びコンタクトレンズ、伝染性疾患の治療及び予防、眼外傷の救急処置、急性眼疾患の救急処置、手術患者の術前及び術後の処置
- (9) 習得すべき手術手技として、次のものを含む。麦粒腫切開、霰粒腫摘出、眼球摘出、斜視手術、緑内障手術、白内障手術、穿孔性外傷の処置、網膜剥離手術、硝子体手術、光凝固術、冷凍凝固術
- (10) 適切な診療録を作成する能力、ならびに他科あるいは他施設へ適切に紹介、転送することが出来る能力の習得
- (11) 眼科に関する研究を学会にて発表し、その原著を眼科専門誌に投稿する

3. 研修スケジュール



4. 評価

科長、副科長、医局長、病棟医長、外来医長が協議する
日本眼科学会専門医の取得で認定される。

5. 募集人員

5名程度（1年につき）

選考方法：指導責任者及び医局長が面接して決定する。

6. 実施責任者

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 眼科学分野 教授 直井 信久

7. 指導責任者

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 眼科学分野 教授 直井 信久

8. 関連施設、学会認定状況

宮崎県立宮崎病院 （宮崎市）

宮崎県立日南病院 （日南市）

9. その他

特記なし

10. 連絡先

宮崎大学医学部眼科学教室

TEL：0985-85-2806

E-mail：ophtha@fc.miyazaki-u.ac.jp